

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。

奈良県内の小規模事業者・中小企業者の新事業展開への助成事業（事業区分：A事業①②）

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

課題認識

奈良県内における課題は下記の項目が挙げられており、奈良県では企業誘致や雇用促進、観光振興など各担当部局がそれぞれの施策を打ち出しているが、それら支援施策の中でも地域固有の資源を活用した新事業展開(新商品・新サービスの開発等)、海外販路開拓への支援策は十分でないと考えられる。

- 県内消費率が低い
- 県民一人当たりの年間商品販売額が低い
- 県内就業率が低い
- 県内宿泊者数が少ない
- 人口減少と高齢化による活力低下
- 若者の就業の場の不足
- 農林業、地域産業の衰退

方向性

奈良県は神社仏閣をはじめ、歴史が深い地域資源を豊富に有している。また、豊かな自然が育む農産物等も多く存在している（豊かな自然環境、おいしい空気や水、豊かな森林資源、吉野材ブランド、世界遺産をはじめとする豊富な歴史・観光資源）。この豊富に存在する地域固有の資源を掘り起し、磨き上げていくとともに、それらを有機的に結び付ける知恵と努力が必要である。これらを後押しするため、当財団では県の支援施策の補完を行うべく中小企業地域資源活用等促進事業を実施し、新事業展開(新商品・新サービスの開発等)、海外販路開拓の取組に対して支援を行う。

目標

奈良県の魅力的な商品やサービスを増やすことで、県内消費が増加するだけでなく、県外や国外に販路を拡大することが可能となり、ブランド力強化にもつながる。地域ブランド力が高まれば奈良県の魅力が高まり観光客誘致にもつながると考える。地域の魅力を再発見あるいは創造し、多元的な情報発信などにより都市部との交流を進め地域のにぎわいと活力を高めていくべく、下記を目標として販路開拓支援や各年度毎の助成金交付を行う。

- 各助成事業者が事業終了年度から3年以内に事業化するよう全事業者にフォローアップを行う。
- 各助成事業者が事業化を達成した年の翌年度から3年間で年率3%の付加価値の向上を目指す。

事業実施計画

実施項目	令和 6 年度											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
助成金交付要領等整備	↔											
選考委員会の委員選定・委嘱	↔											
助成事業者公募	↔											
審査		↔										
交付決定		↔										
助成事業実施			←							→		
事前検査・精算・実績報告										←		→

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

実施事業の内容・実績

本事業では、下記の 2 事業を実施した。

① 新事業展開等助成金交付事業（中小企業地域資源活用等促進事業）

奈良県内に事業所を置く小規模事業者・中小企業者の地域資源活用等による新事業展（新商品・新サービスの開発等）、海外販路開拓に係る経費の一部を助成することで、事業化を支援し地域の活性化を図った。令和6年度は 4 社を採択し、助成金を交付するとともに、事業化および海外販路拡大に向けての支援を実施した。

② 助成事業者のブランド力強化支援

令和6年度に助成事業者のブランド力の強化支援を実施した。具体的には、助成金を交付した事業者に対してインタビューを行い、採択事業者の魅力を効果的に発信が可能な PR 動画を制作した。今後、当財団のホームページやメールマガジン、チラシ等で PR 動画の広報を実施し販路開拓のフォローアップに繋げていく。

令和 6 年度採択各事業の実施した結果生まれた課題概要

- ・海外における商品の認知度・訴求性の低さ
- ・耐久性不安・手入れ方法等の新商品に関する課題
- ・海外輸出におけるコスト・インフラ、輸出規制等
- ・海外輸出の際の温度変化による品質劣化等の課題
- ・参加者層の拡大とリピーター育成
- ・コスト効率の改善
- ・講師やスタッフのスキル向上

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

○3年以内の事業化（1/4）

○事業化翌年度から3年間で年率 3 %の付加価値向上(0/4)

翌年度の実績が無いいため、現時点では該当なし

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

○採択事業者へのフォロー

- ・進捗状況の定期的な確認
- ・専門家による事業化などのフォロー
- ・BtoBマッチングによる事業者の相乗効果を促進
- ・地域自治体などとのマッチングによる地域活性化促進
- ・プレスリリースなどの広報支援や、情報発信取組についてフォロー
- ・財団実施予定の商談会、展示会の参加案内

など、採択事業に適した支援を実施する。

○令和7年度の新規助成金交付事業の実施 200万円×2件を予定

注1) 上記項目について詳細に記載してください。

注2) 成果（結果）の内容について、別途、お伺いすることがあります。

注3) 成果物(報告書・アンケート集計物・DVD等)、記録用写真等があれば提出してください。